

景気・経済動向 (2019年1月データ、2月アンケート調査等から)

1. 概況

(全体) 当連合会のアンケート調査(2月)では、景況感は設備投資の増加や公共投資を中心とした災害復旧・復興需要の拡大などから高水準のまま横ばいで推移している。先行き(2~3ヵ月先)については、慎重な見方が強まっている。

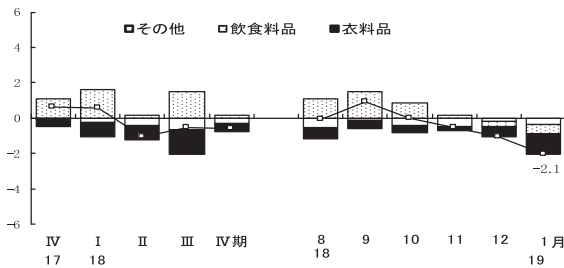
(個別指標) 雇用は高水準を維持しているものの、個人消費には持ち直しの動きに足踏み感がみられる。

2. 個別指標

(1) 消費・住宅投資

(百貨店・スーパー販売額)

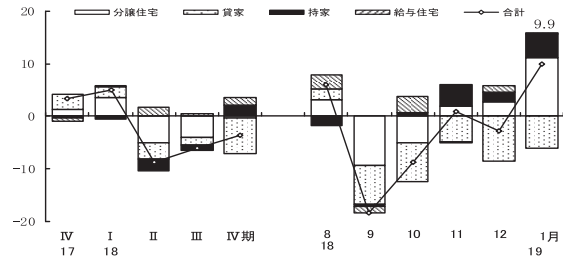
対前年伸び率の品目別寄与度(%)



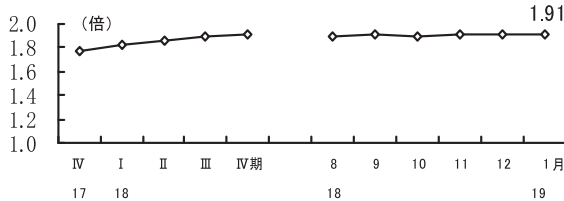
資料：経済産業省「商業動態統計月報」、国土交通省「建築着工統計調査報告」

(新設住宅着工戸数)

対前年伸び率の利用関係別寄与度(%)

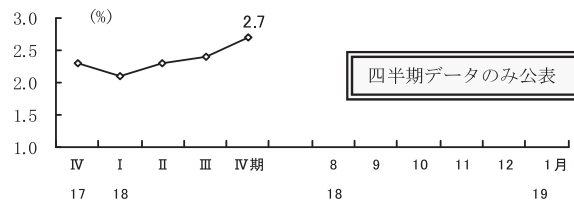


(2) 雇用(有効求人倍率)

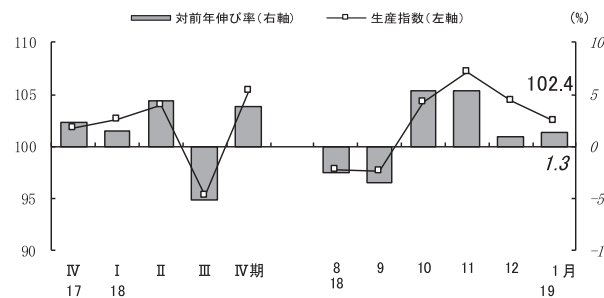


資料：厚生労働省「職業安定業務統計」、総務省「労働力調査」

(完全失業率)

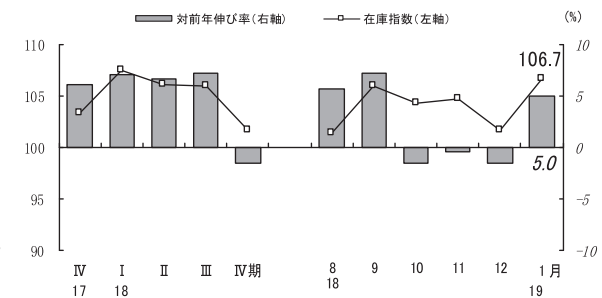


(3) 生産動向(生産指数)



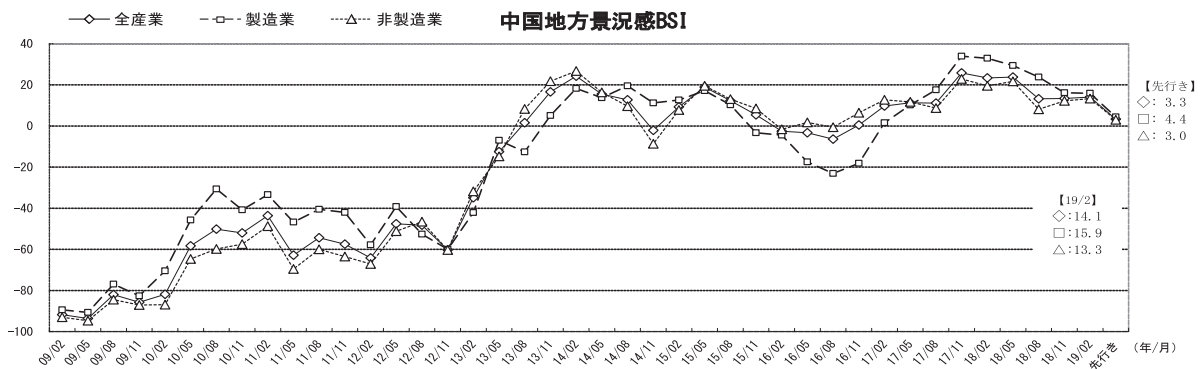
注：1. 生産指数、在庫指数とも2015年=100 2. 最新月は速報値

(在庫指数)



資料：中国経済産業局「鉱工業生産動向」

(4) 景況感



資料：中国経済連合会